



## 樽水若竹同窓会会報

## 第 83 号

発行者：樽水若竹同窓会 事務局広報部

同窓会 本部・事務局

〒047-0001 小樽市若竹町9番1号

北海道小樽水産高等学校内

TEL. (0134) 25-0063

FAX. (0134) 23-4553

※年会費払込口座（郵便局）

02720-8-42603

樽水若竹同窓会

印刷所（株）ジェノア印刷

## 厳しい現状を乗り越えるため

北海道小樽水産高等学校  
校長 木村 司

樽水若竹同窓会の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より本校の教育活動に對しまして、格別のご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

本校の現状についてですが、3月に行われた入学選抜では4学科平均の当初出願時の倍率は1.1倍で、学科別では栽培漁業科は1.2倍、水産食品科は1.4倍と管内ではトップクラスの高倍率となりました。一方、海洋漁業科は34名、情報通信科は35名の当初出願数で、それぞれ定員を下回る0.9倍となりましたが、その後の出願変更、2次募集等でなんとか全ての学科で定員を確保することができました。昨年に引き続き出願状況は厳しい状況でしたが、2年連続で定員割れを起こすことだけは、なんとか免れることができました。

この先も児童・生徒数が急激に減少する中、札幌を中心とした一部の都市部以外は、後志管内に限らず北海道全体の高校が同じように定員確保が難しい状況にあります。後志管内に関しては、今後3年間で中学生の数は180名程度減少すると言われています。小樽市内に限っても、

130名程度の減少が予想されています。そんな中、本校が今後も定員を確保していくためには、全道各地から生徒が集まってくることが必要不可欠であると考えます。本年度、小樽市以外の地域からの入学生が57名（うち後志管内は30名）となっており、約1.5クラス分の生徒が小樽市外からの入学生となっています。このように、全道各地から入学生が本校を受験してくれるのも、同窓の皆様が各地域で長年にわたりご尽力いただいているおかげであると、あらためて感謝申し上げます。

さて、今年度の入学式は4月9日（木）に本科160名、専攻科21名の新入生を迎え、無事、挙行することができました。しかしながら、今年の年明けから続く新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、卒業式同様に入学生と教職員のみで、内容も簡素化したものとなりました。卒業式以降続いていた臨時休校も終了し学校は再開しましたが、多くの制約がある中で教育活動となっています。始業式も放送で行い、4月に予定されていた3年生の修学旅行は12月に延期、専攻科の乗船実習も4月中は行わないこととなりました。また、通常の授業に関しても生徒・教員ともマスク着用、教室内の換気の徹底、1日1回以上の校舎内の消毒など感染予防を徹底した状態での学校生活となっています。そして、部活動についても学校の再開に合わせ活動を再開しましたが、各種大会が延期あるいは中止となっており、対外試合が当面禁止など多く

の活動制限をしたうえでの活動となっています。3年生にとっては、高校生活最後の年がこのような形での本場に厳しい形でのスタートとなりました。特に、就職活動に関しては全く先が見えない状況で、学校としてもできる限りの情報収集に努めてまいりますが、同窓会におかれましても引き続き本校生徒の進路活動に対するご理解・ご協力をお願いいたします。

一日も早く、明るく活気に溢れた教育活動が再開できるように祈念するとともに、こうした厳しい状況ではありますが、水産高校としての進むべき道をしつかりと見定め、「樽水丸」の針路を誤らずに順調な航海を続けていけるよう努めていく所存です。樽水若竹同窓会の皆様には、今後とも変わらぬご支援をお願いいたします。



## ■胆振支部定期総会

令和元年度、胆振支部定期総会が7月6日洞爺観光ホテルで開催されました。

出席された方は、本部より本間弘行会長（高25製・札幌市）、吉田整史（高25製・小樽市）、

胆振支部より丹波徹人（高26無・室蘭市）、佐藤哲康（高15漁・虻田町）、佐藤悦章（高20製・虻田町）、大友哲（高20漁・白老町虎杖浜）、安宅修治（高21増・伊達市）、藤村健一（高22増・豊浦町）、八田久（高28経・室蘭市）、弊豊広（高29経・豊浦町）、藤村晃二（高29経・豊浦町）、吉崎博（高29漁・寿都町）、岩佐敦（高31裁・小樽市）、芦野新一（高33裁・豊浦町）、高橋英昭（高39裁・豊浦町）、川又範計（高38製・虻田町）、三島基幸（高44漁・虻田町）、大澤健也（高44漁・むかわ町）、高田大輔（高46裁・豊浦町）、渡邊雅之（高47裁・小樽市）の20名が参加されました。

本部、他の支部からの参加もあり、垣根を越え大変な盛り上がりでした。

本間会長の挨拶に始まり、最後は校歌、応援歌（優勝歌・親潮）を全員で歌い、年齢、時代を超えた宴会となりました。

佐藤悦章さんは卒業後52年間（昭和南山噴火のため1回中止）51回の開催で50回の出席です。欠席1回についても白樺寮の同窓会に参加したためです。

皆勤賞、感謝、感謝、母校の思いが希薄になるなか母校愛の塊です。他にも、ほぼ皆勤賞に佐藤哲康さん、大友哲さん、丹波徹人さん毎年の参加に感謝です。

若竹同窓会胆振支部は昭和27年設立から67年の歴史があり、先輩方々の礎を大切に守らなければと思います。先人の皆様に感謝です。

次回の開催地は洞爺湖（令和2年7月）です。ので、垣根を越えて多くの小樽水産高校関係者の参加を期待します。

尚、役員につきましては慎重審議の結果、以下となりましたので報告させていただきます。

|      |      |
|------|------|
| 相談役  | 佐藤哲康 |
| 支部長  | 丹波徹人 |
| 幹事長  | 大友哲  |
| 幹事   | 伊藤幸博 |
| 監事   | 藤村晃二 |
| 事務局長 | 川又範計 |
| 会計   | 高田大輔 |
|      | 岩佐敦  |
|      | 大澤健也 |
|      | 八田久  |

記 岩佐敦



胆振支部定期総会

## ■高19期漁業科クラス会開催

卒業後初めてのクラス会を2月12日小樽駅下の魚政にて9名の参加者にて行われました。当日都合により来られない者もおられましたが、短い時間内でクラスメイトの消息等を確認するとともに互いの変貌ぶりに驚きあいました。

### 【参加者】

尾岱沼 池田 実  
小樽 三ヶ田 修

経塚 民男  
泉 敏男

大村 隆一  
青木 幸一

小樽 高橋譲四郎  
菅小牧 佐野 英雄

仲田 正治



高19期漁業科クラス会

## ■函館支部定期総会

函館支部定期総会が2020年1月11日(土)、函館市の「湯の浜ホテル」で開催されました。

出席された函館支部の方は、西山忠義(専2漁)、黒石寿(専7漁)、早坂義幸(専7漁)、佳茹や民樹(高20ム)、阿部忠(高28ケ)、武安宏行(専40漁)、渡辺勝範(専24漁)、佐藤誠(専27無)、小松崎節雄(高39漁)、伊藤正光(専32漁)、松本和也(専48漁)、本間航太(専44無)、

佐々木健太(専52漁)、米田昌平(専57漁)、木津谷昌平(専57漁)さんです。

総会に入る前、昨年度お亡くなりになられた若竹同窓会会員様へ、函館支部会員一同で黙祷を行いました。改めてここに、ご逝去を慎み、謹んでお悔やみ申し上げますとともに、会員一同心からご冥福をお祈り致します。

続いて、2019年度の事業報告と決算報告及び2020年度の事業計画と予算案並びに役員等について武安事務局長より説明し、質疑応答の後それぞれ満場一致により承認されました。

又、本部の動向や今後の函館支部会員の体制と組織強化等について、出席者と共通認識を計りました。その他、今月出港する実習船のマグロの水揚げ場所を函館港にして、函館のスーパー2店で販売した事や船舶の船員不足についての意見交換も行いました。

総会終了後の懇親会では、宮下樽水若竹同窓会執行部本部長を迎え、同窓会の旧交を温め親睦を深めました。

懇親会の中で阿部忠さんは「皆さんとお会いして、美味しい食事と楽しい話が出来て楽しかった。親睦を深めて仕事頑張ります。」と話しておりました。懇親会の最後には、校歌を参加者で歌い、世代を超えた同窓生の気持ちが一つとなり、次回も出席の皆様方が元気な姿で会える事を約束して終了致しました。

最後に武安事務局長により、「本日は寒い中、お越しいただきまして、誠にありがとうございます。一昨年は胆振東部地震があり、昨年は台風により関東・甲信・東北地方に大きな傷跡

を残しました。被災されました同窓生の皆様には心よりお見舞い申し上げます。毎年お伝えしていただくことを願っています。毎年お伝えしておりますが、私たちの中には大きな困難に直面した時、仲間で助け合うこと、励まし合うことの大切さを認識している。世代を超えた同窓生としてのこの「縁」を大切にしたい。今後同窓生との親睦を図るべく、尚一層のご助言をお願い致します。」と述べられ懇親会を終了しました。

本部より出席されました宮下執行部本部長、お忙しい中お越し頂きまして誠にありがとうございました。

記(事務局長) 武安 宏行



函館支部定期総会



## ■忘 年 会

令和元年12月14日、忘年会を小樽寿司屋通りで居酒屋を経営している海坊主（前田登・高31無）で開催されました。出席者は、高橋譲四郎（高19漁）、吉田整史（高25製）、岩佐敦（高31裁）、赤石孝司（高33無）、嶋秀二（高36漁）、川崎昭弘（高37裁）、竹内千禎（高38裁）、細越裕司（高39無）、梶征一（高39裁）、川本守（高51裁）の11名が参加しました。年齢、学科、職業は異な



忘 年 会

りますが小樽水産高校の門を通った同窓として当時の懐かしい思いを語り合いました。

高橋譲四郎さんから在学当時の実習船、拓洋丸、若潮丸での実習の様子、教員として相撲部、野球部顧問の時代を懐かしそうに語って頂きました。

一人でも多くの卒業生が、毎年5月に開催される定期総会に参加して頂きたいと思っています。

記 岩佐 敦

## ■高31期栽培漁業科新年会

去る令和2年2月22日札幌市において「第13回」高31期栽培漁業科の新年会を開催しました。

参加者は佐藤将幸（猿払村）、高谷洋一（釧路市）、山森淳（神恵内村）、山本勇一（岩内町）、藤田尚（常呂町）、竹内衛（根室市）、手塚吉彦（札幌市）、久保修一（余市町）、岩佐敦（小樽市）の9名が参加されました。昨年は近年の温暖化による海水温上昇による魚種変動、不漁、時化が続く漁業者にとっては大変な一年だったと思います。

とうとう還暦を迎えることとなり、足腰に負担のかかる年代となりました。

還暦の節目に5月2日、高31期全科合同の同窓会を実施予定でしたが、新型コロナウイルスのため延期することとなりました。

また、各支部も新たな動きが見えています。日高支部、宗谷支部は執行部編成の見直し、新たに猿払支部の立ち上げ予定等、地方支部なくして本部なし、海なくして小樽水産高校なしと考えます。明治38年（1905）に産声を上げた校歌にもあるように「國の寶は海にあり」この精神を忘れず後世に伝えていきましょう。各学年、各支部が定期的に同窓会が開催されることに嬉しく思います。

記 岩佐 敦



高 31 期栽培漁業科新年会

## ●海洋漁業科

### 〈就職〉

漁業後継  
 新日本海フェリー(株)  
 商船三井フェリー(株)  
 津軽海峡フェリー(株)  
 ハートランドフェリー(株)  
 昭和日タンマリタイム(株)  
 北星海運(株)  
 日本海洋事業(株)  
 川近シップマネージメント(株)  
 播洋実業(株)  
 新日本海サービス(株)  
 青池水産(株)  
 岩間工業(株)  
 (株)小樽観光振興公社  
 (同) 小樽カナルボート  
 水産庁  
 北海道教育委員会  
 渡島教育局実習船

### 〈進学〉

東海大学  
 (独) 国立清水海上技術短期大学校  
 小樽水産高校・専攻科漁業科

## ●水産食品科

### 〈就職〉

東洋水産(株)  
 東洋冷蔵(株)  
 和弘食品(株)  
 一正蒲鉾(株)  
 佐藤水産(株)  
 山崎製パン(株)  
 トーウンサービス(株)  
 ワタキューセイモア(株)  
 オースマシナリー(株)  
 D & Nコンフエクションナリー(株)  
 中村建設(株)  
 (株)北海道日水  
 (株)東急百貨店  
 (株)ホクレン商事  
 (株)かま栄  
 (株)デリカ  
 (株)北一硝子  
 (株)IOI  
 (株)大八栗原蒲鉾店  
 (医) 池田内科クリニック  
 フィズネット(株)

### 〈進学〉

光塩学園調理製菓専門学校  
 専門学校札幌デザイン学院  
 札幌フライダル&ホテル観光専門学校  
 札幌こども専門学校  
 経専北海道保育専門学校  
 札幌ビューティーアート専門学校

## ●栽培漁業科

### 〈就職〉

漁業後継  
 北海道旅客鉄道(株)  
 西南水産(株)  
 大ワ大和水産(株)  
 オーセントホテルズ(株)  
 ワタキューセイモア(株)  
 クリロン化成(株)  
 ノーザンオートサービス(株)  
 小樽典礼(株)  
 近藤工業(株)  
 (株)カナモト  
 (株)デリカ  
 (株)北一硝子  
 (株)北海道ニッカサービス  
 (株)温泉宏楽園  
 (株)アンビックス  
 道央エンジニアリング(株)  
 ホクレン農業協同組合連合会  
 余市郡漁業協同組合  
 (医) 熊澤歯科  
 (二社) 根室管内さけ・ます  
 増殖事業協会  
 三協鉄工(有)  
 オオイガワ企画

### 〈進学〉

福井県立大学  
 東海大学  
 東京農業大学  
 小樽医師会看護高等専修学校  
 札幌医療秘書福祉専門学校  
 経専北海道どうぶつ専門学校  
 経専北海道観光専門学校  
 北海道どうぶつ・医療専門学校

## ●情報通信科

### 〈就職〉

日本無線(株)  
 北海道電機工事(株)  
 北海道エネルギー(株)  
 北海道太平洋生コン(株)  
 オーセントホテルズ(株)  
 ワタキューセイモア(株)  
 小樽典礼(株)  
 城野電機工業(株)  
 (株)ネクスコ東日本エンジニアリング  
 (株)大江電気  
 (株)第一寶亨留  
 (株)ENERGY ACTION  
 陸上自衛隊(自衛官候補生)

### 〈進学〉

北海道情報大学  
 北海道情報専門学校  
 日本航空専門学校  
 北海道ハイテクノロジー専門学校  
 専門学校札幌デザイン学院  
 小樽水産高校・専攻科情報通信科

## ●専攻科 漁業科

### 〈就職〉

イイノガストランスポート(株)  
 近郵船舶管理(株)  
 川近シップマネージメント(株)  
 北日本海運(株)  
 鶴見サンマリントンカー(株)  
 日本海運(株)  
 北海道教育委員会  
 渡島教育局実習船

## ●専攻科 情報通信科

### 〈就職〉

宇宙技術開発(株)  
 中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京(株)  
 CTCシステムマネジメント(株)  
 川崎近海汽船(株)  
 警察庁 北海道警察情報通信部  
 警察庁 東京都警察情報通信部  
 青森県教育委員会  
 青森県立八戸水産高等学校実習船

## ■こんにちは (同窓生紹介)

### 樽水本科生初の快挙 実習船第5代北鳳丸船長に



115年の歴史に小松崎節雄  
(高39漁) 燦然と輝く！

道南の渡島管内大成中学を卒業後、先輩に続けと小樽水産高校の本科漁業科を志願し昭和62年3月卒業の小松崎節雄は、将来の船舶職員を目指し焼津のマグロ漁船(499ト)に甲板員として18ヶ月乗船し平成元年、請われて実習船管理局所属の実習船に甲板員として転船した。

かつては、漁業・製造・栽培漁業など水産を学ぶ学校が、全道に稚内から紋別北までぐつと北海道を取り巻くように14校もあり、現在は小樽水産・函館水産・厚岸翔洋高校の3校に集約され、本道水産業に大きく貢献しています。

中でも実習船教育は、期間の長短はあれ乗組員と寝食を共に体験に基づく実学の習得と人道の心を学ぶ貴重な教育であり、時化の日も嵐の日もよき乗組員と努力も苦勞も、汗と涙で心が通じ合う尊い教育機関であります。だからこ

そ船に足を踏み入れた生徒皆々は、指揮する船長の姿に「垂涎の的」を求める所以であります。

従って彼も実習船に甲板員として乗船以来、本科生という学歴にも係わらず独学で上級職員を目指し四級海技士(航海)・三級海技士(航海)そして最大の難関二級海技士(航海)を平成28年8月見事に合格、憧れの第5代北鳳丸(664ト)船長にこの春就任致しました。本科生という学歴で不世出の超越した存在である事は間違いありません。

### ■令和2年度 定時総会および懇親会の中止について

会長 本間 弘行

新緑の候、樽水若竹同窓会会員の皆様におかれましては、ますますご隆盛のこととお慶び申し上げます。

さて、5月の定時総会の開催が迫り、その準備を進めてまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の全国的な拡大および政府からの緊急事態宣言を受け、また、収束の兆しが見られないことから予定の定時総会および懇親会を中止することといたしました。

定時総会での審議事項につきましては、4月18日に実施しました執行部会(役員会)で審議承認いたしました。

会員の皆様には、ご迷惑をおかけして恐縮ですが、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

## ■「寄稿」

### 国分寺サイトロボクシングジム

斉藤 寛(高6漁)

十数年前、彼女らは種々の問題児でありそれを更生するためにNPO法人の施設に入り、現在はそれぞれの職場に入り働き、週3回健康維持のため当ジムに通って来ています。この日はたまたま女性でしたが男性もおります。



### ■令和元年度 物故者

事務局に連絡のありました、ご逝去の方々をお知らせいたします。  
平成31年  
4月6日 小原 邦裕 氏(高29無) 小樽市

### 編集後記

樽水若竹同窓会会報「わかたけ」は会員の皆さんからの投稿や情報により編集されています。クラス会の記録や同窓生の活躍などがありましたら、事務局に寄せていただくことをお願いいたします。

なお、発行の費用になる会費の納入については、それぞれの支部が直接本部まで振り込みをお願いします。振込先は表紙に揭示しています。

振込用紙の必要な方は、事務局まで連絡をお願いします。